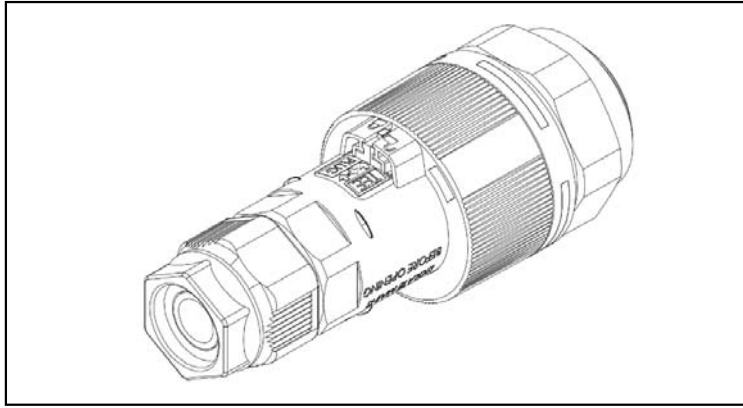


THB406-3P、-6P 取扱説明書



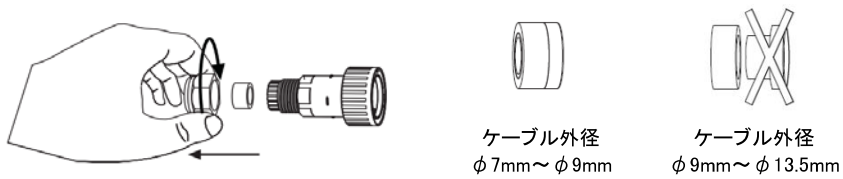
注意事項

- ・電源電圧の印加中は、感電の恐れがありますので端子部に触れないで下さい。
- ・電線の接続や取外しは電源を切って行って下さい。
- ・安全性の面から、1次側をメス(ソケット側)、2次側をオス(プラグ側)になるように配線して下さい。
- ・保護等級の範囲内でご使用下さい。

作業手順

①ソケット側の組立

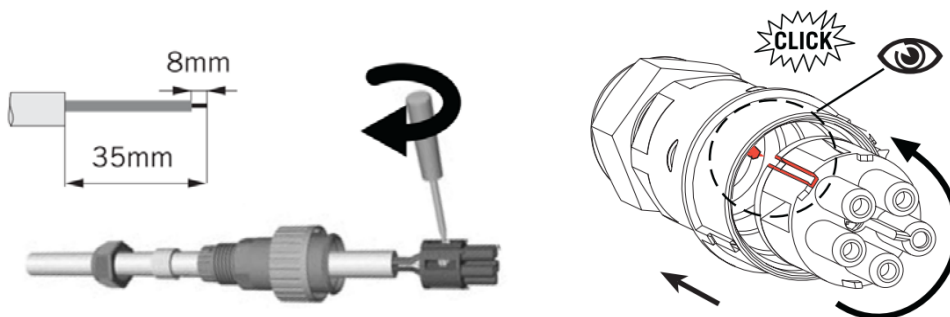
キャップを緩め、ゴムブッシュを取り外し使用するケーブル外径に調整する。



②図のように配線をして、端子ネジをマイナスドライバーにて締付ける。(ドライバー先端幅は3mmが推奨です。)

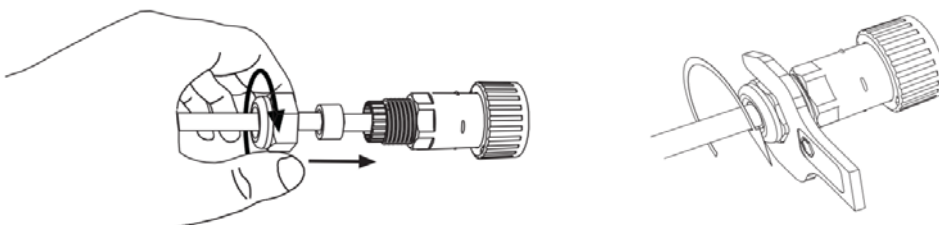
次に、結線した端子台をソケットに差し込み、左へ回してロックさせて下さい。

端子台にある溝とソケット内側を合わせて挿入して下さい。



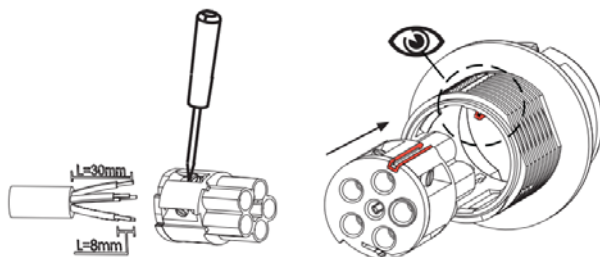
③ゴムブッシュを奥まで確実に取付け、ケーブルグラウンドのキャップを締付ける。

締付工具「6000337BC」または、プライヤー等を使用し、ケーブルが動かなくなるまで締付けて下さい。



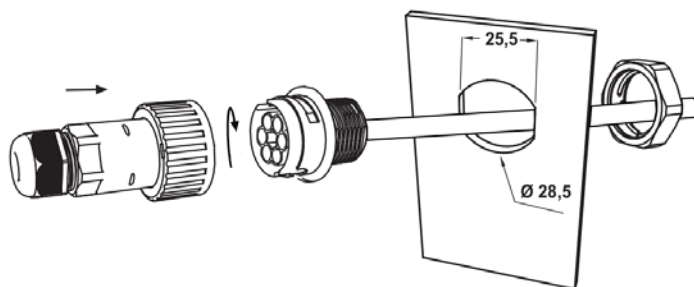
④プラグ側の組立

図のように配線をして、端子ネジをマイナスドライバーにて締付ける。(ドライバー先端幅は3mmが推奨です。)
端子台にある溝とプラグ内側を合わせてクリック音をするまで、挿入して下さい。



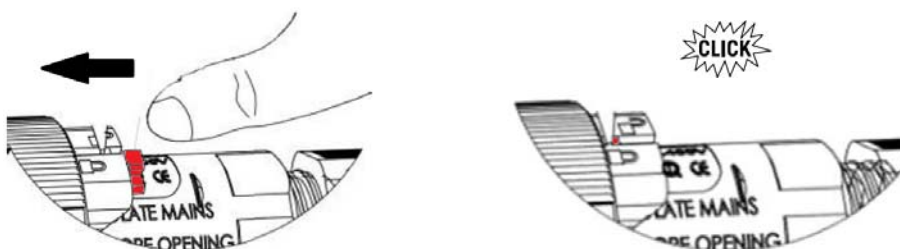
⑤プラグ側を付属のナットで、パネル等に取り付ける。

ソケットとプラグを差し込んで、ソケット側のリングを締め込みます。



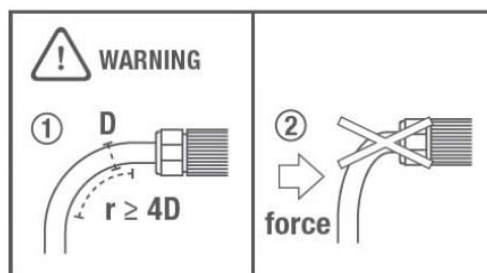
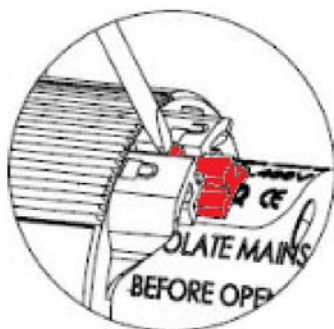
⑥ロックスライダー(赤い部品)を矢印の方向へ押す。

「カチッ」と音が聞こえたり、感触があればロック完了です。



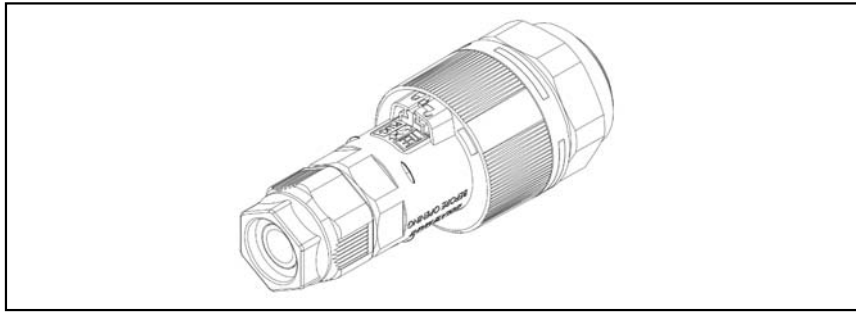
ロックの解除方法

マイナスドライバー等で、ロックスライダー(赤い部品)をゆっくりと引き出して、ロック解除位置にします。



- ① 配線時、ケーブルの曲げ半径はケーブル直径の4倍以上にして下さい。
- ② コネクタに衝撃が加わらないように使用して下さい。

THB406-8P 取扱説明書



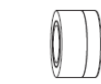
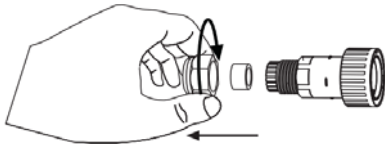
注意事項

- ・電源電圧の印加中は、感電の恐れがありますので端子部に触れないで下さい。
- ・電線の接続や取外しは電源を切って行って下さい。
- ・安全性の面から、1次側をメス(ソケット側)、2次側をオス(プラグ側)になるように配線して下さい。
- ・保護等級の範囲内でご使用下さい。

作業手順

①配線の準備

キャップを緩め、ゴムブッシュを取り外し使用するケーブル外径に調整する。



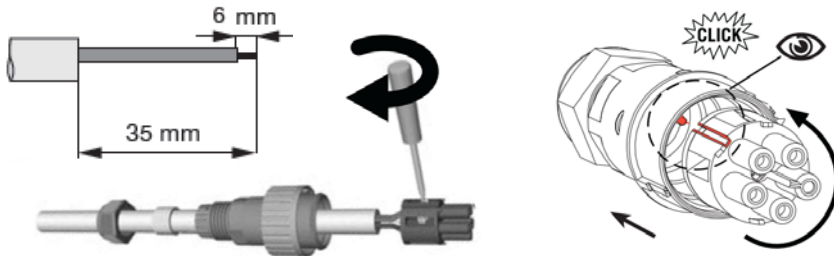
ケーブル外径
φ7mm～φ9mm



ケーブル外径
φ9mm～φ13.5mm

②ソケットの配線と組み立て

図のように配線をして、端子ネジをマイナスドライバーにて締付ける。(ドライバー先端幅は3mmが推奨です。) 端子台にある溝とソケット内側を合わせて、結線した端子台をソケットに差し込み、左へ回してロックをする。



オプション部品 — 端子取付工具「600052600」の使用方法 —



端子取付工具を差し込む



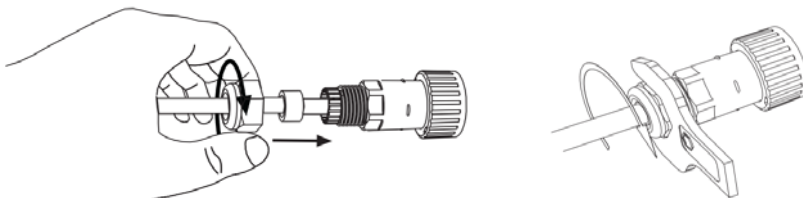
反時計回りに回して固定する

8Pの端子台を固定する際に使用する、端子台取付工具です。

端子台を本体に挿入した後、反時計回りにカチッと音がするまで回してください。

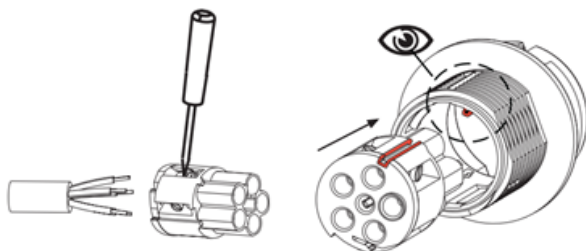
③ゴムブッシュを奥まで確実に取付け、ケーブルグランドのキャップを締付ける。

締付工具「6000337BC」または、プライヤー等を使用し、ケーブルが動かなくなるまで締付けてください。



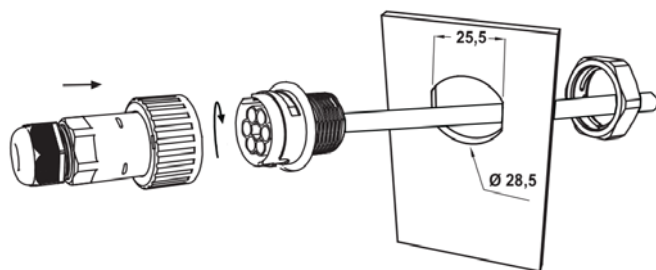
④プラグ側の組み立て

図のように配線をして、端子ネジをマイナスドライバーにて締付ける。(ドライバー先端幅は3mmが推奨です。)
端子台にある溝とプラグ内側を合わせてクリック音をするまで、挿入して下さい。



⑤プラグ側を付属のナットで、パネル等に取り付ける。

ナットを、オネジにまっすぐ差し込んで、止まった位置から回し始めて下さい。
ソケットとプラグを差し込んで、ソケット側のリングを締め込みます。



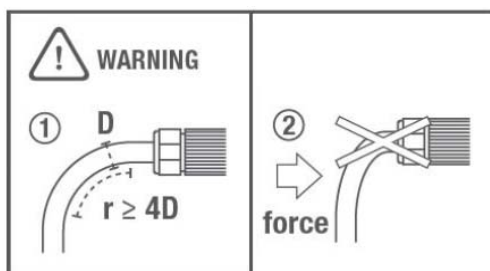
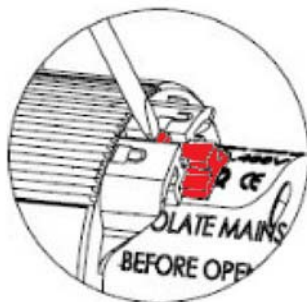
⑥ロックスライダー(赤い部品)を矢印の方向へ押す。

「カチッ」と音が聞こえたり、感触があればロック完了です。



ロックの解除方法

マイナスドライバー等で、ロックスライダー(赤い部品)をゆっくりと引き出して、ロック解除位置にします。



- ① 配線時、ケーブルの曲げ半径はケーブル直径の4倍以上にして下さい。
- ② コネクタに衝撃が加わらないように使用して下さい。